

受付番号	平成 30 年 2 月 22 日
/	午後 4 時 40 分 受領



平成 30 年 2 月 22 日

胎内市議会議長 森田 幸衛 様

胎内市議会議員 榎本 丈雄

### 一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 胎内市の基幹産業である農業振興策について	<p>① 平成 30 年度から、政府は米の生産数量目標の配分を廃止するが、胎内市農業再生協議会では、本年度並みの減反目安 33.9%を示した。この目安 33.9%を増やすことなく今後も維持できるのか。</p> <p>② 各集落の農業経営者及び農業組織の後継者の有無など、持続性を把握しているか。</p> <p>③ 農地中間管理機構を活用すれば全耕作地の集積や集約が図られるのか。中山間地や悪条件の田畑はどのようになるのか。</p> <p>④ 農業に意欲があれば全ての農業者が市の補助事業などの支援を受けることができるのか。耕作地の面積要件などの制限はあるのか。</p>	市長
2. 嘉平山の取得とその後について	<p>① 林地開発の認可が下りたとのことだが、どのように開発するのか。</p> <p>② 開発後の利用方法は未来の発展を見越した計画でなければならないと思うが、実行計画はあるか。</p>	市長

<p>3. 塩沢霊園について</p>	<p>① 船戸霊園はまだ余裕があるが、塩沢霊園は66区画全部が完売したとのことである。隣接する土地を売却しても良いという市民がいるが増設する計画はあるか。</p>	<p>市長</p>
<p>4. 胎内市の除雪運行計画について</p>	<p>① 除雪は、どの程度の積雪があれば出動するのか。また、どこで指示を出しているのか、伺う。</p> <p>② 市役所駐車場の除雪は、どこでどのように排雪しているのか。雪の山があり、駐車できないことがあったが、改善できないか。</p> <p>③ 合併後の除雪が悪くなったとの声がある。市に対し除雪に対する苦情はあるか。また、あればどのように対処しているか。</p>	<p>市長</p>



受付番号	平成30年 2月26日
2	午前 7時 57分受領

平成30年 2月26日

胎内市議会議員 森田 幸衛 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
実効性のある「ひきこもり」対策について	現役の保健師の時ひきこもりの方を訪問してきましたが、効果があがらないこともありました。現在も気にかかる方から辛い思いを伺いましたので、取組を強化して欲しく質問します。 ① 現在、胎内市で把握されている「ひきこもり」の人数について伺います。 ② 現在、「ひきこもり」対策はどのように行われているか伺います。 ③ 今後の対策について伺います。	市長
小学校と中学校の不登校生徒の実態と対応について	私がたずねた現在ひきこもりの方の半数以上の方が小・中学校の不登校がありましたので、予防の対策が大切と考えて質問しました。 ① 現在、各学校ごとの不登校生徒の人数について伺います。 ② 小学校・中学校での対応について ③ 不登校予防の取り組みについて	教育長
中央公民館調理室の利用状況と食器等の整備について	乙地区の方から、きのと交流館には調理室がないので中央公民館を利用するが食器等が揃っていない。整備して欲しいとの要望がありました。利用状況と併せて伺います。	教育長



受付番号	平成30年2月26日
4	午前10時20分 受領

平成 30 年 2 月 26 日

胎内市議会議員 森田 幸衛 様



胎内市議会議員 渡辺 宏行

### 一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項		質問の相手
1. 新年度予算編成と協働に関する取り組みについて	<p>(1) 市長として初めての予算編成に当たり胎内市のあるべき姿に対して何を施策の柱として新年度予算編成を行ったか。</p> <p>(2) 全職員を対象とした協働のための研修を行い、協働のための体制を整えるとは具体的にどのようなことか。</p>	市長
2. 地方創生に関する取り組みについて	<p>(1) 奨学金返還支援事業の資金調達手段として、企業版ふるさと納税を活用しているが、どのような方法で実施するのか。</p> <p>(2) 胎内高原ワインの増産に向けた資金調達にクラウドファンディングを活用することだが、クラウドファンディングを選択した理由と取り組み方法について。</p>	市長

質 問 事 項		質問の相手
<p>3. 選択と集中について</p>	<p>(3) 国の地方創生に関連する事業提案の実績と今後の考え方について。</p> <p>(4) 国の地方創生人材支援制度を活用し、人材を受け入れる考えは。</p> <p>(1) 厳しい財政状況の中で、事業の必要性や公共性、投資効果など既存の事業の見直しや検証を行い、事業の優先順位を決めていく、事業仕分けを実施する考えは。</p>	<p>市 長</p>

受付番号 平成 30年 2月 26日

5 午前 11 時 35 分 受領

胎内市議会議員 森田 幸衛 様



平成 30年 2月 26日

胎内市議会議員 佐藤 武志

## 一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 観光・交流振興の取り組みなどについて	1. 「観光振興・交流振興にむけた取り組み」の施政方針について	市長
	① 点在する観光資源を、どのようにつなぎ活かしていくのかについて	
	② 着地型観光における体験型プランについて	
	③ 定住自立圏構想の取組みとしての、首都圏、関西圏、中国・台湾・韓国などの海外から誘客を促進する広域観光について	
	また、徒歩で訪れた観光客の交通手段等について、空き家などを利用した「おもてなし街中カフェ」を設け観光客との交流施設をつくり、胎内市の魅力、文化を語り合える施設を観光・交流振興につなげる取り組みを考えることが出来ないかについて伺う。	
2. デマンドタクシーなどについて	1. 地域交通機関として市内唯一のデマンドタクシーの運行状況などについて伺う。	市長
	① デマンドタクシーの1日の運行数	
	② 利用者数(1日の最高・最低利用数、月別利用数)	
	③ 利用者の目的地利用度数	
	④ デマンドタクシーの登録数	
	⑤ デマンドタクシーへの広告利用数と評価	
3. 中条まつりなどについて	1. 「中条まつり」は、2年前から「まつり花火」も復活し、少しは活気が出て来たものの、「まつり」に訪れる人々、特に近隣からの来客も少なくなってきました。まつり最後4日目には、出店もほとんどが居なくなり山車だけが練り歩く「まつり」となっています。「まつり」の活気を戻すためにも、開催期間の見直しなど、また、「まつり」のあり方を含め伺う。	市長